

# 景況レポート

2024年1~3月期調査

## 景気動向の概況

業況DIは  
前期比12.2ポイントマイナス

今回のアンケート調査は、元日に発生した能登半島地震によるサプライチェーンへの影響や、物価高、賃上げによるコスト増加など悪材料が重なる中で実施いたしました。結果として、今期の全業況DIは▲11.6の前期比12.2ポイントマイナスとなり、全体の業況判断としては悪化となりました。今後については好調なインバウンド需要に加え、新年度を迎えての人流の増加などプラス要因はあるものの、2024年問題などの構造的な悪材料に加え、為替の先行きや、日銀のマイナス金利解除に伴う利上げ観測など、経済や金融市場への影響も懸念され、中小企業の先行きについては慎重な見方が続くと考えられます。

調査要領	合計			製造業			小売業			不動産業			サービス業		
	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率	依頼先数	回答数	回答率
	1599社	449社	28.1%	358社	113社	31.6%	254社	68社	26.8%	119社	37社	31.1%	294社	80社	27.2%
	287社	82社	28.6%	287社	69社	24.0%									

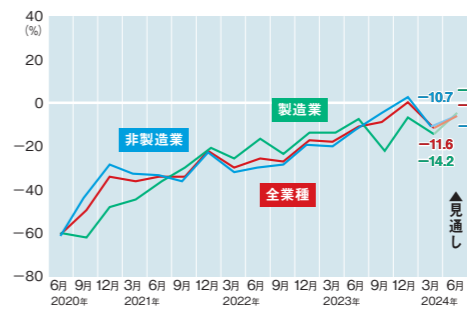
調査時点 / 2024年2月15日~3月7日  
 調査依頼先 / 当庫取引先  
 調査方法 / 郵送調査  
 調査対象期間 / [今期] 2024年1月~3月  
 [前期] 2023年10月~12月  
 [後期] 2024年4月~6月  
 分析方法 / 「増加」(上昇)したとする企業の占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(DI)により分析を行った。  
 ※DI: Diffusion Index (デフュージョン・インデックス)

## 全業種総合DI

業況は悪化、  
来期はやや改善の見通し

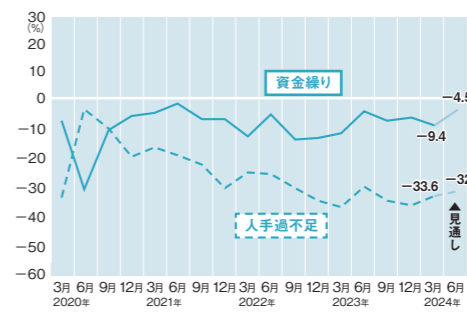
### 業況DIの推移

全業種の業況DIは▲11.6(前期0.6)で悪化しました。内訳は製造業が▲14.2(前期▲6.2)非製造業が▲10.7(前期3.1)となっています。来期はやや改善の見通しです。

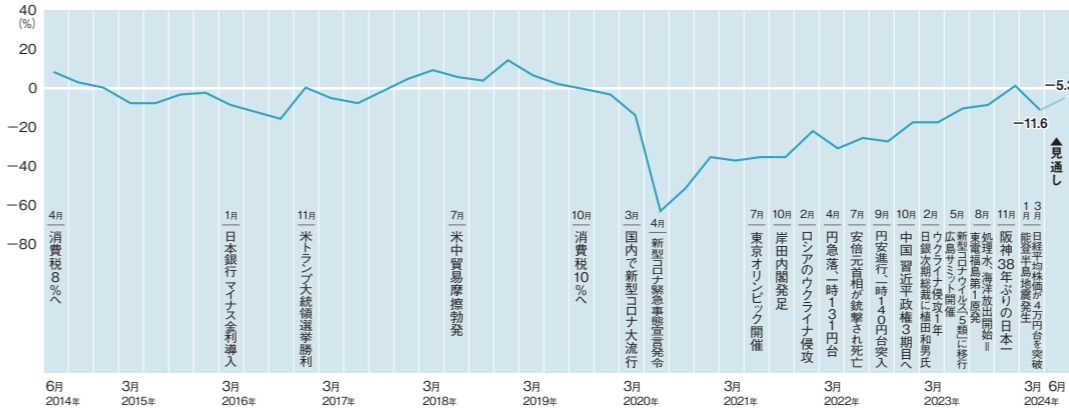


### 資金繰りDI: 人手過不足DI

資金繰りDIは▲9.4(前期▲7.0)でほぼ横ばい、人手過不足DIは▲33.6(前期▲36.8)で「不足」超となりました。来期は資金繰りDIがやや改善、人手過不足DIは引き続き「不足」超の見通しです。



### 10年間の推移(業況DI)



前期 ☁️  
 今期 ☔️  
 見通し ☁️

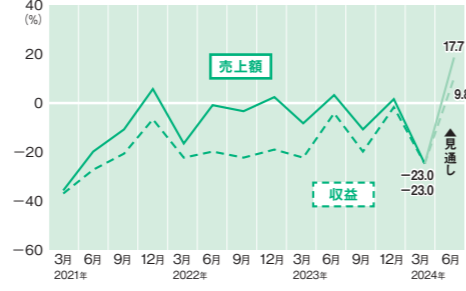
## 製造業

業況は悪化、  
来期はやや改善の見通し

前期 ☔️  
 今期 ☔️  
 見通し ☔️

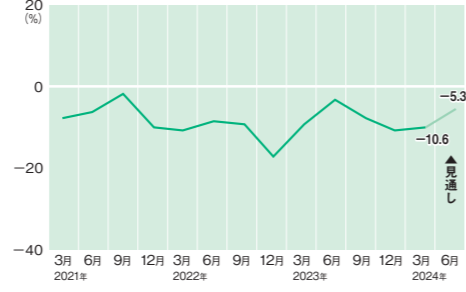
### 売上額・収益DI(前期比)

売上額DIは大幅に悪化、  
収益DIも大幅に悪化

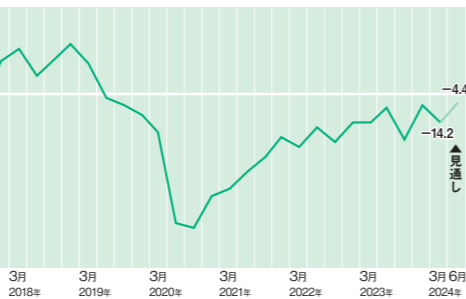


### 資金繰りDI

資金繰りDIは横ばい



### 10年間の推移(業況DI)



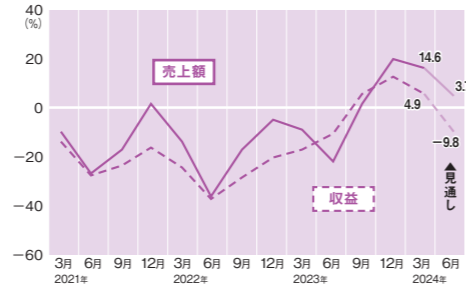
## 建設業

業況はやや悪化、  
来期もやや悪化の見通し

前期 ☁️  
 今期 ☔️  
 見通し ☁️

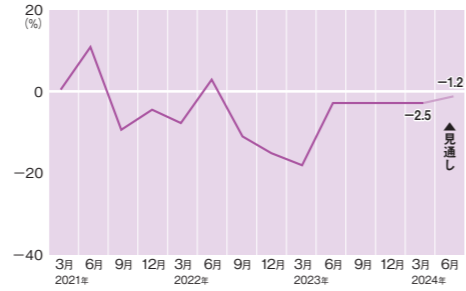
### 売上額・収益DI(前期比)

売上額DIはやや悪化、  
収益DIもやや悪化

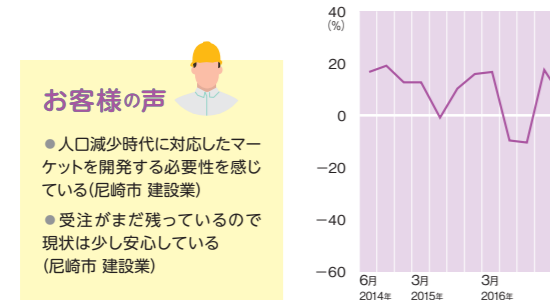
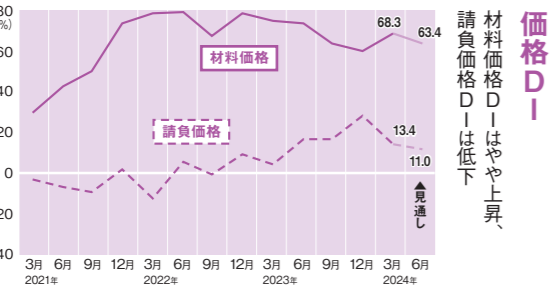
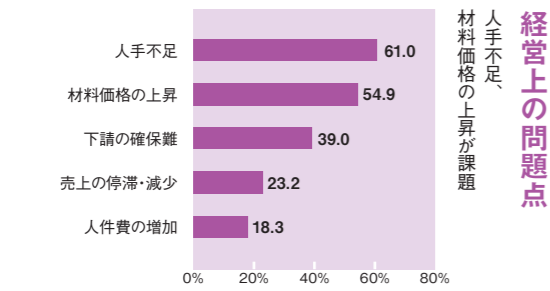
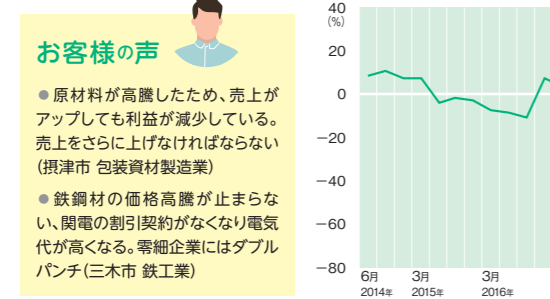
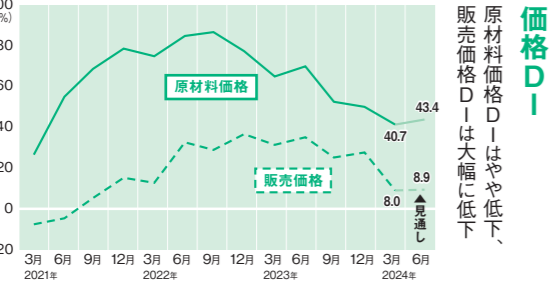
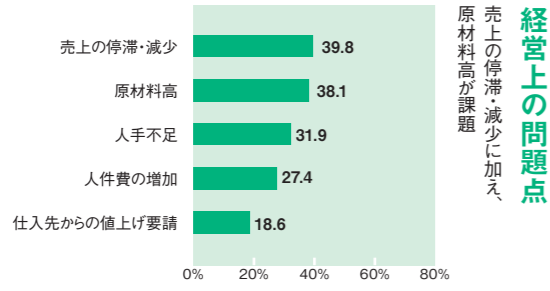
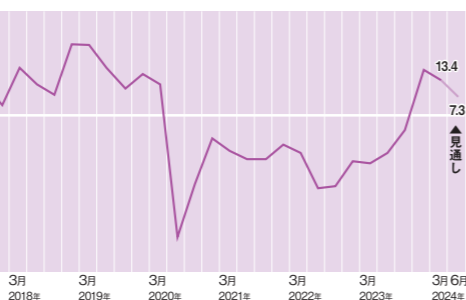


### 資金繰りDI

資金繰りDIは横ばい



### 10年間の推移(業況DI)



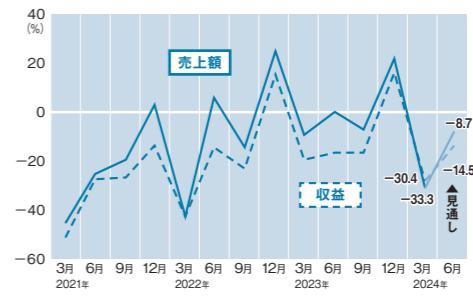
# 卸売業

業況は大幅に悪化、  
来期はやや改善の見通し



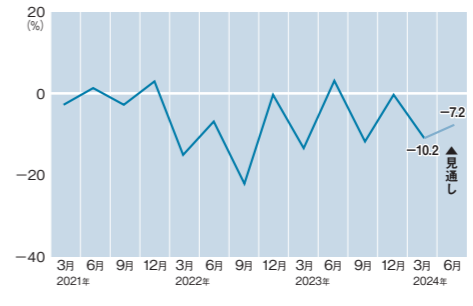
## 売上額・収益D-I(前期比)

売上額D-Iは大幅に悪化、  
収益D-Iも大幅に悪化



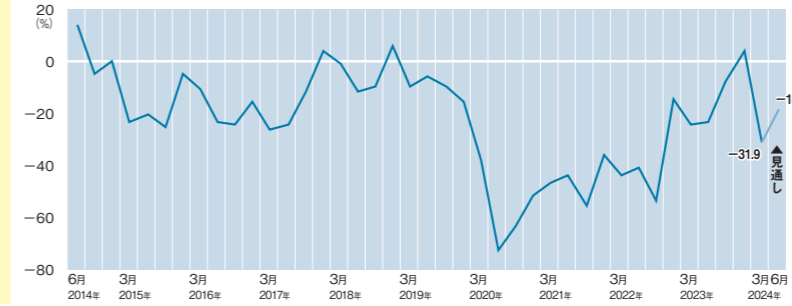
## 資金繰りD-I

資金繰りD-Iは悪化



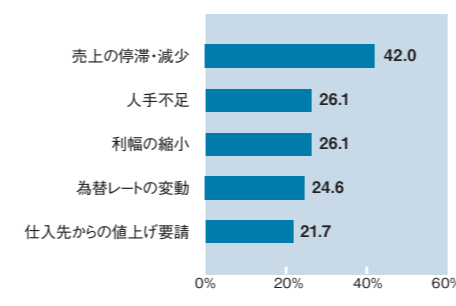
## 10年間の推移(業況D-I)

業況D-Iは悪化



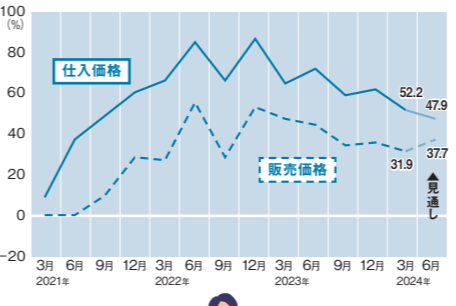
## 経営上の問題点

売上の停滞・減少が課題



## 価格D-I

仕入価格D-Iはやや低下、  
販売価格D-Iもやや低下



## お客様の声

- 昨年の夏ごろから仕入価格が上がり利益率が低下、売上アップが見込めないで買上げ、採用も苦しい(尼崎市 機械卸売業)
- 今年も本格的な景気回復まで移行しない感がある。ただし建設業関連はそれほど極端に悪くはない(川西市 建築資材卸売業)
- 円安の影響で輸入品の仕入価格が上がり続けており、利益確保が難しい(三木市 卸売業)

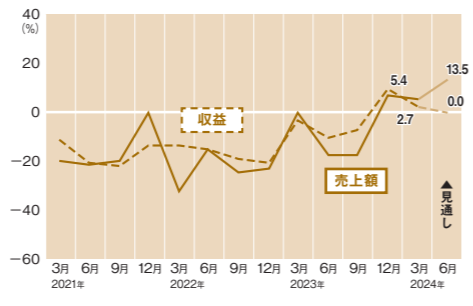
# 不動産業

業況は悪化、  
来期はやや改善の見通し



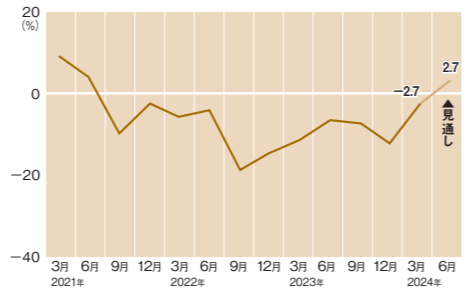
## 売上額・収益D-I(前期比)

売上額D-Iは横ばい、  
収益D-Iはやや悪化



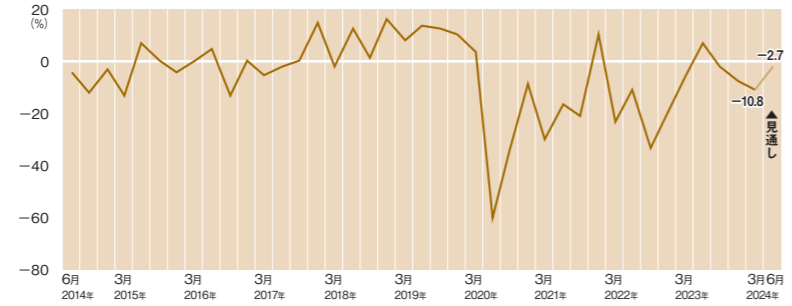
## 資金繰りD-I

資金繰りD-Iはやや改善



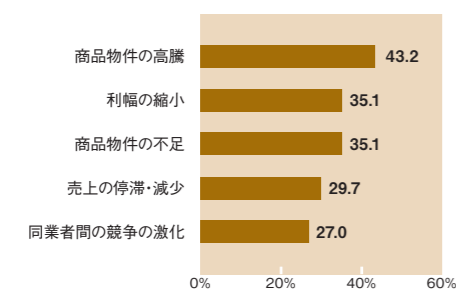
## 10年間の推移(業況D-I)

業況D-Iは悪化



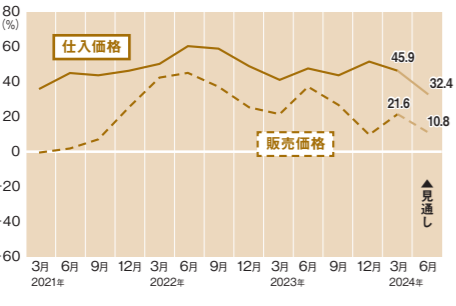
## 経営上の問題点

商品物件の高騰に加え、  
利幅の縮小、商品物件の不足が課題



## 価格D-I

仕入価格D-Iはやや低下、  
販売価格D-Iは上昇



## お客様の声

- 今後、資材の高騰がどこまで続くのか懸念している(尼崎市 不動産業)

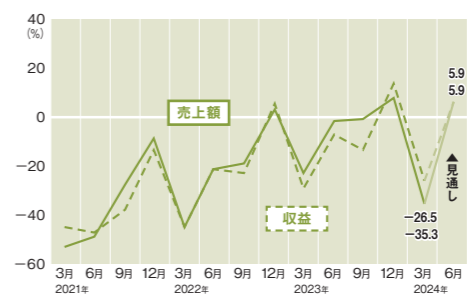
# 小売業

業況は悪化、  
来期はやや改善の見通し



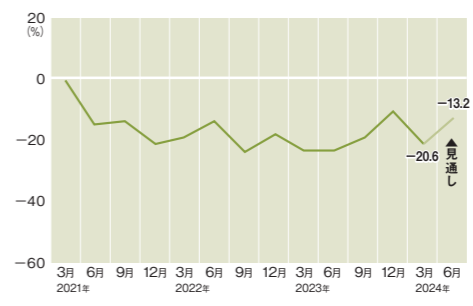
## 売上額・収益D-I(前期比)

売上額D-Iは大幅に悪化、  
収益D-Iも大幅に悪化



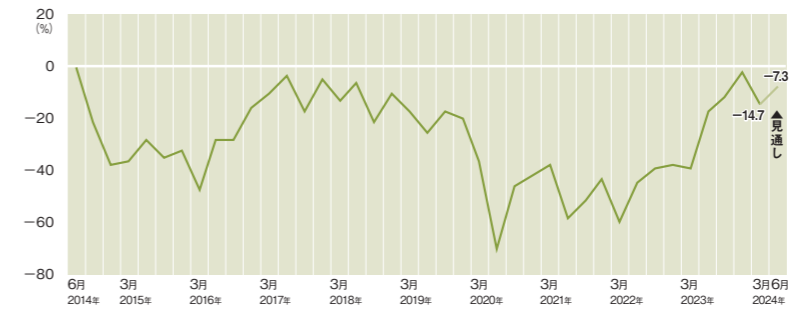
## 資金繰りD-I

資金繰りD-Iは悪化



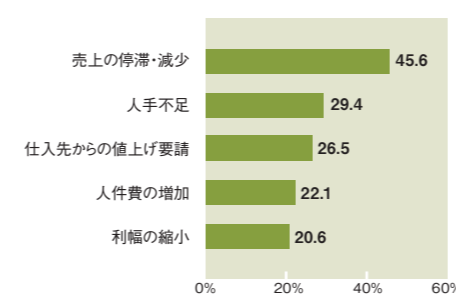
## 10年間の推移(業況D-I)

業況D-Iは悪化



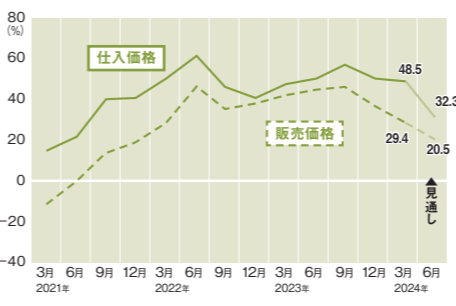
## 経営上の問題点

売上の停滞・減少が課題



## 価格D-I

仕入価格D-Iは横ばい、  
販売価格D-Iはやや低下



## お客様の声

- CDソフトについては売上は例年並み、古着は業界が拡大しているので需要をつかみたい(尼崎市 小売業)
- コロナ融資の返済が始まる中、社員が退社して売上の減少を懸念している(西宮市 小売業)

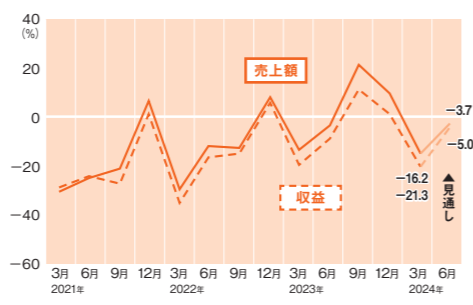
# サービス業

業況は悪化、  
来期はやや改善の見通し



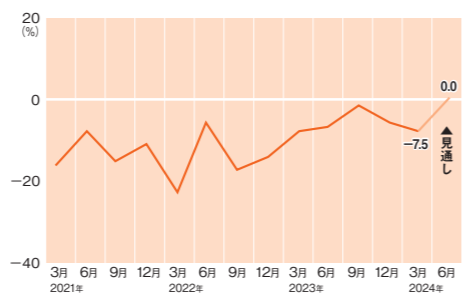
## 売上額・収益D-I(前期比)

売上額D-Iは大幅に悪化、  
収益D-Iも大幅に悪化



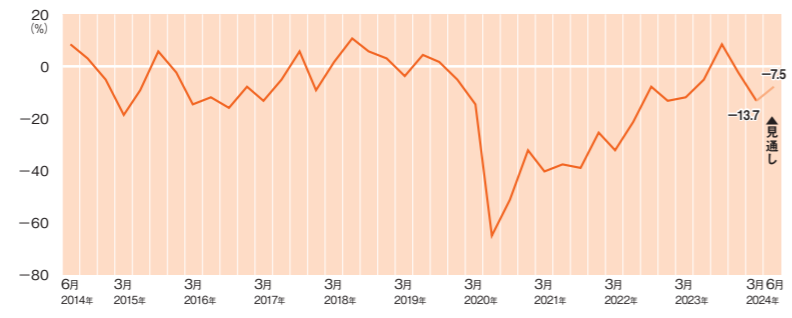
## 資金繰りD-I

資金繰りD-Iは横ばい



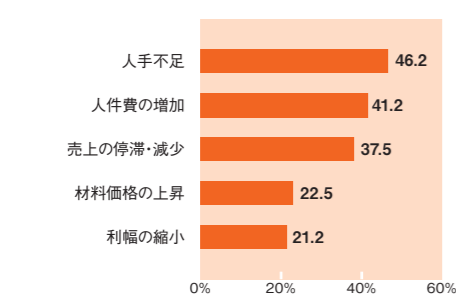
## 10年間の推移(業況D-I)

業況D-Iは悪化



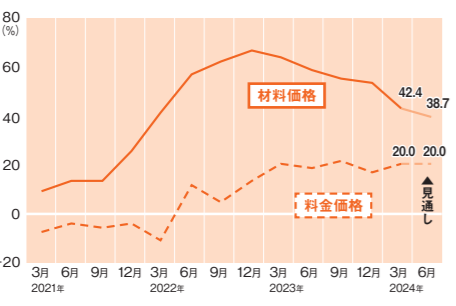
## 経営上の問題点

人手不足に加え、  
人件費の増加が課題



## 価格D-I

材料価格D-Iはやや低下、  
料金価格D-Iはほぼ横ばい



## お客様の声

- 元々残業時間が少ないので2024年問題の影響はない(尼崎市 運送業)
- 賃上げについては昨年実施した(芦屋市 サービス業)